

## コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) について

### 「地域とともにある学校づくり」を目指して

#### 連携・協働

子供たちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、**学校と地域の連携・協働**の重要性が指摘されています。

#### 社会総掛かり

子供や学校の抱える課題の解決、未来を担う子供たちの豊かな成長のためには、**社会総掛かりでの教育の実現**が不可欠です。

#### 共有

輝く子供たちの未来の創造に向けて、学校と地域がパートナーとして連携・協働による取組を進めていくためには、学校と地域住民等が「地域でどのような子供たちを育てるのか」、「何を実現していくのか」という**目標やビジョンを共有**することが重要です。

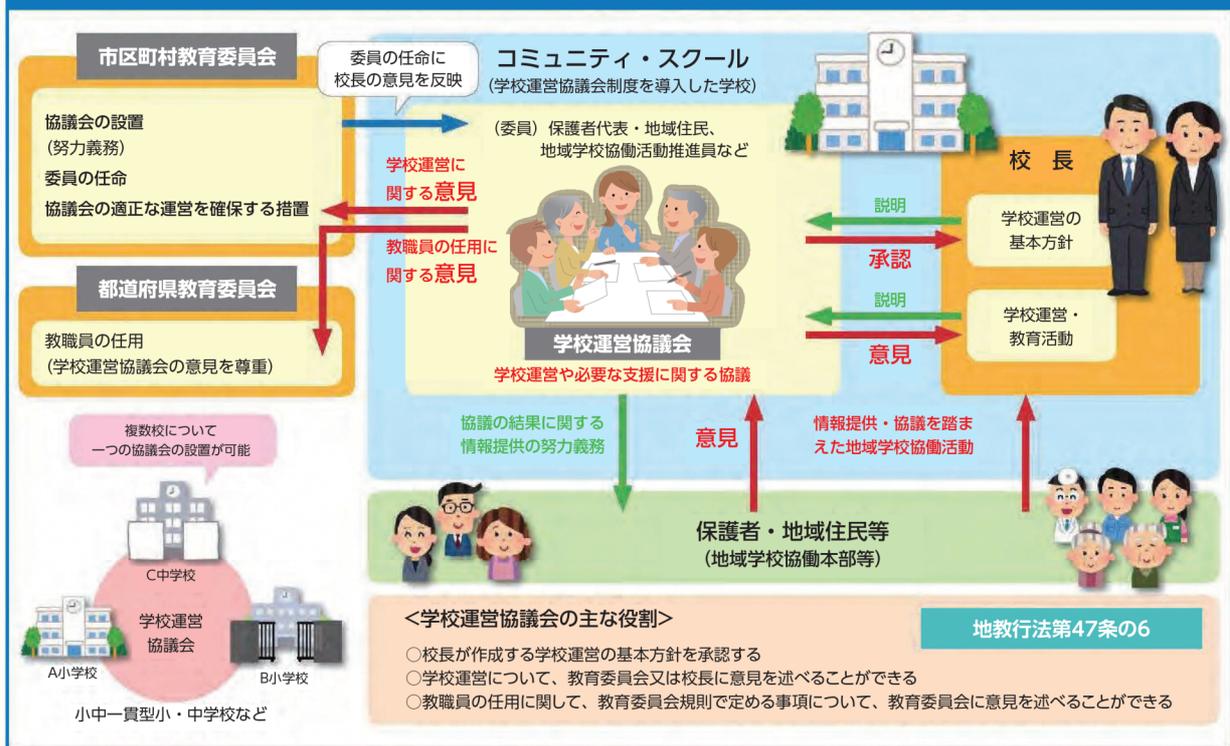
#### 地域とともにある学校づくり

コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「**地域とともにある学校づくり**」への転換を図るための有効な仕組みです。

コミュニティ・スクールでは、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことができます。

→ **コミュニティ・スクール = 学校運営協議会** を導入した学校

### コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) の仕組み



#### ▶▶ コミュニティ・スクール (学校運営協議会制度) に関する法改正 (平成29年4月施行)

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6)

- 学校運営協議会の設置が教育委員会の努力義務に
- 学校運営への必要な支援についても協議すること
- 学校運営協議会の委員に、学校運営に資する活動を行う者 (地域学校協働活動推進員等) を追加
- 教職員の任用に関する意見の範囲について、教育委員会規則で定めることが可能に
- 複数校で一つの学校運営協議会を設置することが可能に
- 協議結果に関する情報を地域住民に積極的に提供することが努力義務に

## ＜五百川小学校を中心とした取り組みの状況＞

- 学校としての準備組織「五百川小学校コミュニティ・スクール推進委員会」
- 市としての協議体「本宮市コミュニティ・スクール推進協議会」

□ 平成30年 6月19日（火） 組織づくり・委員向け研修  
 （講師 五百川小学校長 安齋 宏之）

□ 平成30年 9月 8日（土） 本宮市コミュニティ・スクール推進フォーラム

**平成30年度 本宮市コミュニティ・スクール推進フォーラム**

1 ねらい  
 「本宮市コミュニティ・スクール推進フォーラム」を開催することを通して、保護者や市民のコミュニティ・スクールの理解促進を図り、本宮市の実態に即したスムーズな導入のための学びの機会とする。

2 日時 平成30年9月8日（土） 13:30～16:20

3 場所 本宮市立五百川小学校 多目的室

4 参加者 保護者、地域住民、教職員、CS推進協議会委員、教育委員会事務局職員

5 講師  
 ・ 文部科学省初等中等教育局参事官（学校運営支援担当）付 相田康弘 様  
 ・ NPO法人 まちと学校のみらい代表理事 竹原和泉 様

6 順序  
 進行：CS推進協議会委員 三浦由美  
 （1）開会のことば CS推進協議会会長 大橋一美  
 （2）教育長あいさつ並びに講師紹介 本宮市教育委員会教育長 青田 誠  
 （3）行政説明 「コミュニティ・スクールだからこそできること」  
 文部科学省初等中等教育局参事官（学校運営支援担当）付 相田康弘 様  
 ～休憩～（10分間）  
 （4）実践事例発表 「東山田の事例から見る、コミュニティ・スクールの成果」  
 NPO法人 まちと学校のみらい代表理事 竹原和泉 様  
 （5）質疑  
 （6）お礼のことば CS推進協議会委員 橋本公秀  
 （7）閉会のことば CS推進協議会副会長 伊藤豊子

□ 平成30年 9月19日（水） 推進フォーラムの反省・まとめ

本日のフォーラムでコミュニティ・スクール導入のよさ（メリット・可能性等）を感じられましたか。	本宮市では、来年4月に五百川小学校をモデル校としてスタートさせ、今後5年程度をかけて全小学校に導入する予定です。この計画をどう思いますか。
・十分に感じた 61%	・この計画でよい 56%
・おおよそ感じた 39%	・前倒しして、早めに導入すべき 8%
・あまり感じられなかった 0%	・じっくりと取り組むべき 34%
・感じられない 0%	・その他 2%
	（導入に向けて、地域や家庭に十分に周知することが必要だと思う。）

□ 平成30年10月 4日（木） 先進地視察

## 1 本宮市のCS推進計画

### (1) CSが目指す姿

「子どもの夢と地域の未来をつなぎ、みんなが笑顔になるコミュニティ・スクール」

- みんなで夢に向かう力が強い子を育てる。
- みんなで地域の核になる学校をつくる。
- みんなで笑顔あふれるまちにする。



コミュニティ・スクールの3つの機能

- ① 学ぶ（子どもの学びを豊かにする取組を通して、大人も学ぶ）
- ② つなぐ（CSの取組を通して、人・時間・仕組みなどをつなぐ）
- ③ 生み出す（課題解決を通して、新たな方法、新たな価値などを生み出す）

### (2) CS設置推進計画

- ・ 2019年4月 五百川小学校に導入
- ・ 2019年5月 本宮二中、岩根小学校にCS推進委員会設置
- ・ 2020年4月 本宮二中、岩根小学校に導入
- ・ 2020年5月 本宮一中学区の各校にCS推進委員会設置
- ・ 2021年4月 本宮一中学区の各校に導入
- ・ 2021年5月 白沢中学校区の各校にCS推進委員会設置
- ・ 2022年4月 白沢中学校区の各校に導入

### (3) CSの運営形態

- ・ 本宮一中学区・・・連携型(単独型も)
- ・ 本宮二中学区・・・連携型(将来的には、一貫型も)
- ・ 白沢中学校区・・・一貫型

## 2 五百川小学校学校運営協議会(仮称)運営計画

### (1) 五百川小がCSで目指す姿

- 子どもの安全・安心な教育環境をつくる。
- 子どもの夢を育む学校をつくる。
- 子どもの郷土愛を育む

### (2) 協議する主な内容

- 基本的な方針の承認について
  - ・ 教育課程の編成に関する事
  - ・ 組織編成に関する事
  - ・ 学校経営計画に関する事
  - ・ 学校予算の編成及び執行に関する事
  - ・ 施設管理及び施設設備等の整備に関する事
- 学校や教育委員会への意見の申し出について
- 教職員の任用に関する意見の申し出について
- 学校評価に関する事(学校関係者評価の実施)
- 学校支援活動について

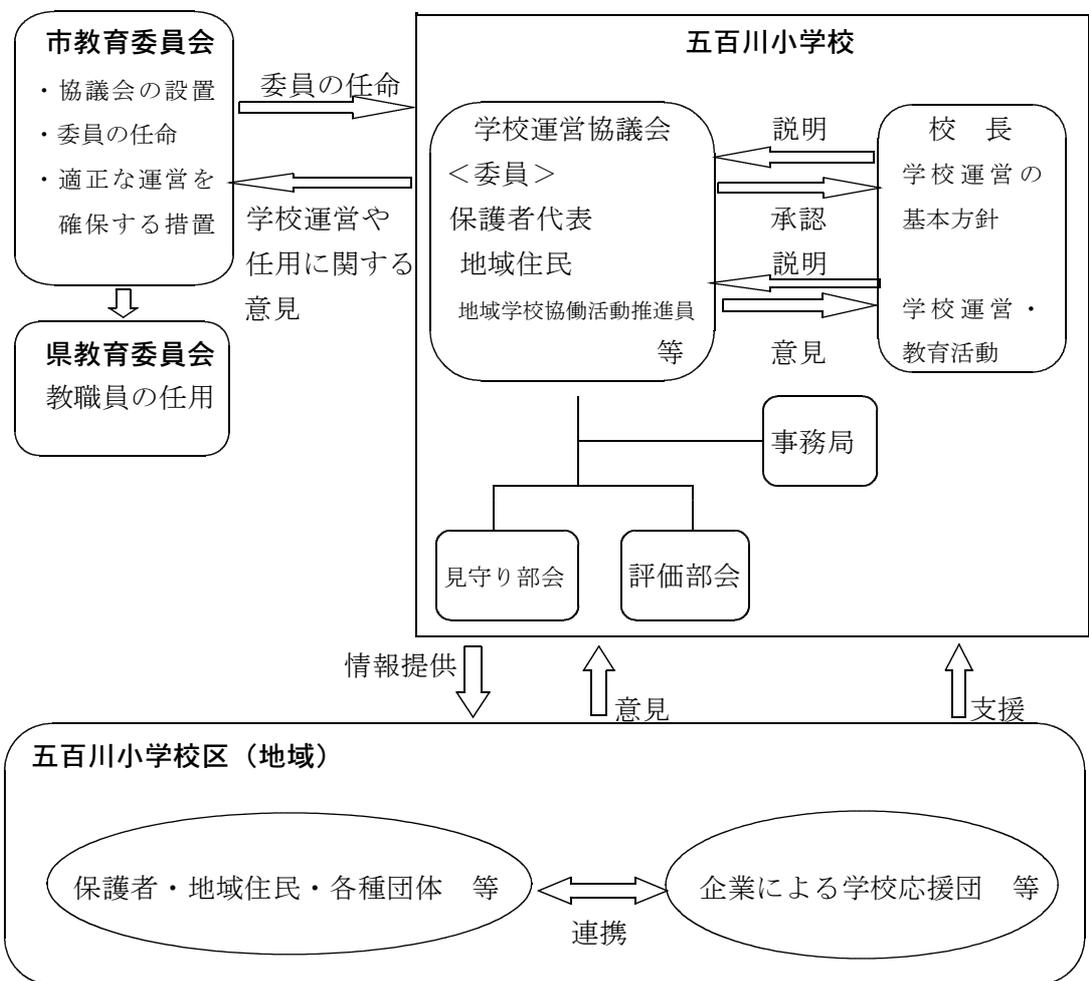
### (3) CSの組織体制

- ① 委員の人数 15名以内 ※ 市の規則 20名以内
- ② 委員の構成
  - ・ 保護者(5名)
  - ・ 教職員(校長・地域連携担当教職員)(2名)
  - ・ 地域住民(5名)
  - ・ 学識経験者(1名)
  - ・ 学校の運営に資する活動を行う者(1人)
  - ・ 市教委(1名)
- ③ 役職
  - ・ 会長
  - ・ 副会長(2名)
- ④ 事務局 CSディレクターと教頭が協力して行う。

⑤ 部会

- 見守り部会・・・五百川小学校見守り隊と連携し、児童の登下校の安全を推進する。  
構成（委員5名と見守り隊員で構成する。部会長は、見守り隊の代表委員とする。）  
部会（年3回程度開催する）
  - 評価部会・・・学校関係者評価を行い、評価結果を学校運営の改善に生かす。  
構成（委員5名で構成し、内1名を委員長兼部会長とする。ただし、学校教職員は除く。）  
部会（年3回程度開催する）
- ※ 地域教育部会などは、今後必要に応じて設置する。

五百川小学校がめざすコミュニティ・スクールの仕組み



(4) CSの年間活動計画(案)

月	内 容	月	内 容
4	第1回委員会(今年度の学校運営の確認)	10	第4回委員会(熟議)
5		11	
6	第2回委員会(熟議)	12	第5回委員会(次年度の学校運営について)
7		1	
8	第3回委員会(熟議)	2	学校関係者評価
9	市CSフォーラム参加	3	第6回委員会(次年度の基本方針の承認)

※ 学校行事等へは、基本参加(入学式、運動会、授業参観、学習発表会、卒業式等)

※ 先進地への研修視察等は、今後検討

(5) 他の関係団体との連携

① 小中連携について

二中、岩根小学校との連携については、両校にCSが設置された場合、「本宮二中学区CS連絡協議会」を設置し、CSの取組について情報共有を図り、共通する課題については、実践的な対応策を協議する。

② 学校支援地域本部との連携について

これまでとおり、学校支援については、学校支援地域本部と連携し、ボランティアの派遣協力をお願いする。

③ 「企業による学校応援団」との連携について

今後学校運営協議会が主催する地域連携事業への助成やボランティアの派遣をお願いする。

④ PTAとの連携について

PTAは、目標や課題を共有できる一番のパートナーである。従って、積極的な連携を図る必要がある。

⑤ 見守り隊との連携について

見守り隊は、子どもの安全・安心な教育環境を整える要である。見守り部会を中心に、見守り隊との連携を深める。

⑥ その他の団体との連携について

上記団体以外との連携も必要であり、CSが目指す目標を理解していただく広報活動や個々の課題解決のための協働活動を、CSディレクターが窓口となり、行っていく。

(6) その他

① 「CSだより」の発行について

年3回を目安に、CSディレクターが行っていく。

□ 平成30年12月10日(月) 地域とともにある学校づくり推進フォーラム参加

平成30年度 地域とともにある学校づくり推進フォーラム  
(東京会場)



あなたは何を **繋** ぎましたか？

- 日時：平成30年12月10日(月) 10:30~16:30
- 会場：文部科学省講堂(東館3階)

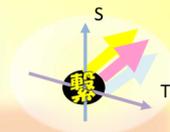
文部科学省

平成30年度 地域とともにある学校づくり推進フォーラム  
(東京会場) <Contents>

【序章】 10:30~12:00

模擬 学校運営協議会

(希望者のみ:先着「初心者対象」)



【第一章】 13:00~13:20

つながり

~つながりの大切さを知った日~

・(熊本県)益城町立益城中央小学校

【第二章】 13:20~14:40

つなげる

~一人でできないことも...~

- ・文部科学省 (コミュニティ・スクール⇄地域学校協働活動)
- ・(山形県)大石田町立大石田中学校 (教職員⇄地域住民)
- ・(東京都)八王子市立松木中学校 学校運営協議会 (学校区⇄学校区)
- ・(埼玉県)戸田市教育委員会 (学校⇄企業)
- ・(岐阜県)岐阜県立吉城高等学校 (生徒⇄地域住民)
- ・(山口県)下関市王司&清来まちづくり (学校の情報⇄地域の情報)

【第三章】 14:55~15:45

つながりたい

~そこには目指すものがあるから~

【コーディネーター】CSマスター 森 保之氏(福岡教育大学教職大学院 教授)

【第四章】 15:45~16:20

つなげたい

~無限の可能性を探り続ける~

- ・(福岡県)久留米大学(大学院生)
- ・(滋賀県)長浜市立余呉小中学校(事務職員)



【最終章】 16:20~16:30

繋 ~つながる~

事前Web申込が必要です

コミュニティ・スクール

で検索して下さい。



□ 参加申込受付:10月15日(木)18時~11月15日(金)18時  
(当日受付なし・後定席)  
※事前アンケートを設定しています。必ず参加者本人によるご回答をお願いします。

文部科学省総合教育政策局 地域学習推進課 (10月16日~)  
TEL:03-6734-3720 E-mail:cs-fb01@mext.go.jp

※ 今後の予定

- ・ 啓発リーフレットの作成・配布
- ・ 本宮市学校運営協議会規則の制定
- ・ 平成31年4月1日からの五百川小学校学校運営協議会設置

## コミュニティ・スクールを導入することで・・・(導入後の効果)

▶▶ 保護者・地域住民等も子供たちの教育の当事者となり、責任感を持って積極的に子供への教育に携わることができるようになります。

- お互いに顔がわかる関係になり、地域住民等が子供たちに積極的に声をかけたり、直接助言したりする場面が増加します。
- 学校が保護者や地域住民等と一緒に課題等に対する対策を考え、実行に移すことができます。
- 小中一貫教育等の新しい教育方法との組み合わせにより、地域ぐるみで効果的に子供を育む体制が構築されます。



▶▶ 保護者や地域住民等にとって学校運営や教育活動への参画は、自己有用感や生きがいにつながります。さらに、子供たちの学びや体験が充実します。

- 多くの大人の専門性や地域の力を生かした学校運営や教育活動が実現し、子供たちに多様な経験を積ませることができます。
- 学校が社会的なつながりを得られる場となり、地域のよりどころとなります。
- 地域の特性を生かした学びを目標を共有した上で実施することにより、学校での学びがより豊かで広がりを持ちます。



▶▶ 保護者や地域住民等と学校が顔が見える関係となり、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現します。

- 学校の現状や運営方針について理解が深まり、地域住民等が学校の応援団となります。
- 学校・家庭・地域の「適切な役割分担」により、教職員が子供と向き合う時間の確保につながります。



▶▶ 地域の課題解決に向けた取組や大規模災害時の緊急対応等に、学校と地域が一体となって取り組むことができます。



# 教育

只今市立M中学校は  
職場体験学習の準備中...

生徒の受け入れを  
お願いできませんか

A先生  
忙しいけど  
の相手なかな  
出来ないよ

うちの子どもは  
選手を目指してる  
ので地元の職場体験  
は行かなくていいです

B先生  
はまた  
保護者  
普通業務  
精一杯

教材研究  
部活指導  
教員研修会

# 大学入試改革

目立って高校では  
学校運営協議会  
が開かれてるのか!

今大学が求めるのは  
主体性  
多様性  
協働性

今までとあまり  
変わりません

先生方、  
これこそ我々  
が求める姿  
です。よ

D先生  
今まで通り  
対面にしたい  
はないです

先生方、  
これこそ我々  
が求める姿  
です。よ

E先生  
今まで通り  
対面にしたい  
はないです

先生方、  
これこそ我々  
が求める姿  
です。よ

F先生  
今まで通り  
対面にしたい  
はないです

職場体験の  
準備が進まない!!

コミュニケーション  
が課題解決  
の鍵

ちよん  
まっちゃん

高工会の  
ネットワークで  
受け入れ先を探します

M中学校の様子は  
よく分かってるので  
先方にも話が  
しやすいよ

職場体験の  
意義について  
理解が深まりました

保護者全体の  
周知に努めます

変化の激しい  
時代に対応  
出来るかが  
必要なの  
です

AIの発達  
Go-Nikku  
Society 5.0

PTA代表  
子供たちの  
将来を見越して  
高等学校も  
変わらなければ  
ならないです

いよいよ  
今こそ

高等学校も  
コミュニケーション  
が鍵

# コミュニケーション

高工会役員 校長

広がる可能性

コミュニケーション  
が鍵

コミュニケーション  
が鍵

地元企業  
人事担当

地域の課題解決  
の取組が鍵です  
企業もぜひ高校  
とコラボしたい  
と思います

# コミュニケーション教育

市立M小学校 学部長  
市立M中学校 学部長  
公民館長

市立M小学校  
2020年  
プログラミング教育  
全面実施に向けて  
協議中

我が校でも  
取り組むことに  
しました

コミュニケーション  
が鍵

コミュニケーション  
が鍵

みんな顔見知り

おはようございます  
お休みの日  
お休みの日  
お休みの日

必修性  
プログラミング  
指導  
の重要性

E先生  
小学校では  
必修性  
が低いので  
中学校では  
必修性  
を高める  
必要があります

コミュニケーション  
が鍵

家庭から  
学校へ

通勤前  
見守り

家庭から  
学校へ

通勤前  
見守り

家庭から  
学校へ

通勤前  
見守り

家庭から  
学校へ

通勤前  
見守り

# 新しい時代の教育に"即"対応!!

学習支援員

共有連携  
見落とし  
ナシ

帰宅時間の確認  
防犯管理使用  
友達の確認

# ※コミュニティ・スクール実施に向けて

	2018	2019	2020	2021	2022	
五百川小	導入準備	実施	① 子どもの安全・安心な教育環境をつくる。 ② 子どもの夢を育む学校をつくる。 ③ 子どもの郷土愛を育む。			
岩根小	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール推進協議会</li> <li>○ 学識経験者</li> <li>○ 保護者</li> <li>○ 地域住民</li> <li>○ 教職員</li> <li>○ 学校の運営に資する活動を行う者</li> <li>○ 市教委担当者</li> </ul>	導入準備	実施	① ② ③		
本宮二中		導入準備	実施	① ② ③		
本宮小			導入準備	実施	① ② ③	
本宮まゆみ小			導入準備	実施	① ② ③	
本宮一中			導入準備	実施	① ② ③	
糠沢小			<p>◎コミュニティ・スクール ～地域とともにある学校づくりを目指して～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・連携・協働(学校・家庭・地域)</li> <li>①熟議 多様な意見の反映</li> <li>②協働 対等の立場で</li> <li>③マネジメント ネットワークの利用</li> <li>・社会に開かれた教育課程の重視</li> </ul>	導入準備	実施	
和田小		導入準備		導入準備	実施	
白岩小		導入準備		導入準備	導入準備	実施
白沢中		導入準備		導入準備	導入準備	実施